

茨大生の英語学習を応援するための

# Ibaraki University Practical English Newsletter

第2号 2019年11月11日  
茨城大学 Practical English 部会 発行

## あなたの英語学習法 本当に効果的？！

皆さんは Book Report や CALL Check などの機会を活用して、授業以外で英語を学習する習慣を作ることができていますか。例えば、筋肉のトレーニングは、やらなければ何も体に変化は起こりませんが、やればその分だけ筋肉が太くなります。また、トレーニングの時間や量はもちろんですが、方法も同じように大切です。間違った方法でトレーニングをすれば成果は出にくく、怪我の原因にもなりかねません。英語の学習もそれに似ています。忙しい大学生が限られた時間の中で、TOEIC®対策を含めた英語学習をより効果的に行うための大前提を第二言語習得研究の知見をもとにご紹介します。

# あなたの英語学習法 見直しのポイント

## ☆ インプット

外国語を使いこなすことができるようになるには、その言語の音声や文章などの「インプット」を理解する練習が必要不可欠です。インプットを理解することを繰り返して初めて、話したり書いたりするために必要な知識が頭の中で育つと考えられています。Book Report や CALL Check はインプットを理解する機会を増やすためにあるのです。もし英語力が伸び悩んでいるなら、日頃の学習の中で聞いたり読んだりする活動が十分に含まれているかどうか見直しましょう。

## ☆ アウトプット

外国語を効果的に学習するには、その言語を使って話したり書いたりすること(アウトプット)も大切です。少しでもいいのでアウトプットすることによって、(1)自分がその外国語を使って表現できることとできないことを知ったり、(2)知らない単語や忘れていた文法に気づいたり、(3)自分の間違いに気づいたりなど、現在の自分に足りないこと、今後勉強すべきことが明らかになります。したがって、例えば、授業中に積極的に英語で発言することは、たとえその場で恥ずかしいと思えるようでも、そのような発見をする貴重な機会なのです。

## ☆ 伸ばしたい能力に合ったトレーニング

聞く能力を高めたいと思っているあなた！ちゃんと聞く練習をしていますか？もししていないのなら、上達しないのは当然ですよね。ギターの弾き方を本や動画でいくら勉強しても、実際にギターを弾く練習をしなければ決して弾けるようにはなりません。単語・文法の学習や読む練習も聞く能力を伸ばすことに影響はあるでしょうが、聞く能力を伸ばすにはやはり実際に英語を聞く練習をするのが近道です。

## ☆ モチベーションと興味

誰にでも経験があるように、何か行動を起こすにはやる気、つまりモチベーションが必要です。聞く、読む、話す、書くなどの能力を駆使して、インプットをたくさん取り入れ、アウトプットの練習を継続するのはとても大変なことです。そのためには、可能な限り、内容に興味がある教材でインプットし、楽しい方法でアウトプットしなければなりません。興味があって楽しい学習方法であれば、モチベーションが高まり、英語学習の継続へ

つながり、自信が持てる好循環が生まれます。逆に、内容に興味がなく退屈な方法は、あなたにとって効果的な学習方法とは言えないかもしれません。

## 「英語学習法 見直しチェックリスト」

- 定期的にとくさん聞いたり読んだりしている？
- 話したり書いたりする機会を作っている？
- 伸ばしたいスキルに合ったトレーニングをしている？
- 興味のある教材を使っている？その方法、楽しい？

次号では、TOEIC® L&R で必要な「聞く」「読む」能力を高めるための具体的な方法を紹介します。